

洞爺湖町史編集の基本的考え方及び重点項目(案)

2. 執筆重点項目(案)

合併後の執筆内容にメリハリをつけるうえで、重点項目を定めておく。

<洞爺湖町>

- ①町村合併（背景、合併協議会、豊浦町の離脱、新町建設計画、地域審議会）
- ②2つのユネスコ遺産（洞爺湖有珠山世界ジオパーク・世界文化遺産入江高砂貝塚）
- ③クリーン農業
- ④ホタテ養殖を取り巻く状況
- ⑤国際ビエンナーレと洞爺湖芸術館
- ⑥新型コロナ（発生から5類移行まで）
- ⑦新たな観光振興（マンガアニメフェスタ、外）
- ⑧アイヌ振興
- ⑨有珠山噴火への備え（物語虻田町史別冊「2000年有珠山噴火 その記録と教訓」を踏まえて）

<洞爺湖町前史>

前町村史の発行から合併前までのいわゆる「前史」に関する記述は多くのページを割けないため、基本的には「生活」「産業」「行政」などのいくつかの区分ごとに時系列の記述（物語虻田町史「行政編」を参考）にとどめるが、下記の重点項目については厚みを持たせた記述とする。

【旧洞爺村】

- ①財田町（現三豊市）との姉妹提携
- ②産業まつり
- ③国営畑かん、道営土地改良事業
- ④農業関連施設整備
- ⑤とうや湖農協発足
- ⑥4本の泉源活用（いこいの家、ハウス栽培、温泉スタンド）
- ⑦公園整備（水辺の森の小径、財田キャンプ場）
- ⑧国際ビエンナーレ
- ⑨学校の変遷
- ⑩国際交流協会（英国青年交流事業）
- ⑪公共下水道整備

【旧虻田町】

= 昭和 58 年～平成 12 年 = (洞爺湖温泉発展史以降) …行政編に簡潔な記述あり

- ①虻田漁港全施設完成
- ②洞爺湖中島のエゾシカ食害
- ③洞爺湖湖水まつり (箱根大名行列参加)
- ④入江貝塚が国史跡指定
- ⑤国道 37 号拡幅整備 (ふれあいの道事業)
- ⑥有珠山噴火復興記念公園・洞爺湖畔遊歩道完成
- ⑦グリーンステイ洞爺湖オープン
- ⑧道央自動車道虻田洞爺湖インター開設
- ⑨オールドボーイロードレース大会を洞爺湖マラソンに改名し、フルマラソン導入
- ⑩とうや湖ぐるっと彫刻公整備完了
- ⑪有珠山噴火

= 平成 13 年～平成 18 年 = 前町史に記載のない項目

- ①政府が虻田町を局地激甚災害に指定
- ②高砂貝塚が国指定史跡に
- ③新しい虻田町合同庁舎が完成
- ④天皇・皇后両陛下が虻田町訪問
- ⑤町道泉公園線開通
- ⑥道の駅「あふた」オープン
- ⑦町道洞爺駅跨線橋通り線開通

_____線項目は、次の洞爺湖町史における重点項目の中で取り上げる可能性が高いもの

1. 基本的考え方

町史の性格	行政史に偏らない幅広い分野を盛り込む		
	①案 歴史書	②案 生活史	③案 人物史
物語的要素	町民に親しまれるもの・可能な限り平易な文章表現		
	①案 史実を重視	②案 読みやすさ重視（劇場型）…主に人物にスポットをあて、歴史をドラマ仕立てにする	
エピソード	コラムなどを活用し、本文は簡潔な文章に		
	①案 挿話（記事にまつわる話題）を基本	②案 コラム（人物に焦点）を基本	③案 エピソードに統一性を持たせる必要なし
写真・図版	視覚性を考慮し、見やすく理解しやすいもの		
	①案 写真を大きく、図版を多く	②案 口絵以外は写真等を一般的な扱い	③案 項目により、写真等の扱いを検討
メッセージ性	未来に向けたメッセージ性のあるものを目指す		
	①案 町史に組み込む	②案 発行後に活用した取り組み（ワークショップ等）	